

# 一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 (SMSCA) スポーツクライミング 第19回 コバトンボルダーカップ

【第39回県民総合スポーツ大会】

エキスパートの部 / 国スポ埼玉県代表候補選考対象大会

ジュニアの部 / ジュニア強化選手・埼玉県代表候補選考対象大会

日時: 2026年4月11日(土) ・ 会場: ロッククラフト川越, 埼玉県



## ■ カテゴリー と 競技方式

- 1) **エキスパートの部** : ○予選 ベルトコンペ方式 / ○決勝 IFSCに準ずる方式 の2ステージにて順位を決定する。  
○予選: ベルトコンペ方式【5エリア / 1エリア1課題 / 合計5課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒】  
○決勝: IFSCに準ずる方式【3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間】
- 2) **ジュニアの部** : ○ベルトコンペ方式 の1ステージにて順位を決定する。 ※予選・決勝方式ではない。  
○ベルトコンペ方式【5エリア / 1エリア2課題 / 合計10課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒】
- 3) **ファンクラスの部** : ○セッション方式 の1ステージにて順位を決定する。 ※予選・決勝方式ではない。  
○セッション方式【5エリア / 1エリア2課題 / 合計10課題 / 競技時間40分間】

## ■ 表彰

- 1) コバトンボルダーカップ としての表彰
  - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
  - ②エキスパートの部成年・少年総合の男女別の優勝者にはトロフィー(レプリカ)を授与する。
  - ③ジュニアの部A・Bならびにファンクラスの部は、カテゴリー別に男女それぞれ1位から3位まで賞状を授与する。
- 2) 県民総合スポーツ大会 としての表彰 (対象: お申込時の住所が「埼玉県」の選手)
  - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
  - ②ジュニアの部A・Bならびにファンクラスの男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。

~~※県民スポーツ大会の賞状が新年度になったばかりで、SMSCAに届いていないため、5月以降に配送する予定です。~~
- 3) 表彰式 : 全体としての表彰式はございませんが、カテゴリーごとに表彰をする予定です。
  - ①エキスパートの部は決勝終了後に実施します。ただし、予選が終了の段階で順位が決定する場合もございます。
  - ②ジュニアの部ならびにファンクラスの部は各カテゴリー終了後に実施します。該当者にはお待ち頂くようお願いいたします。

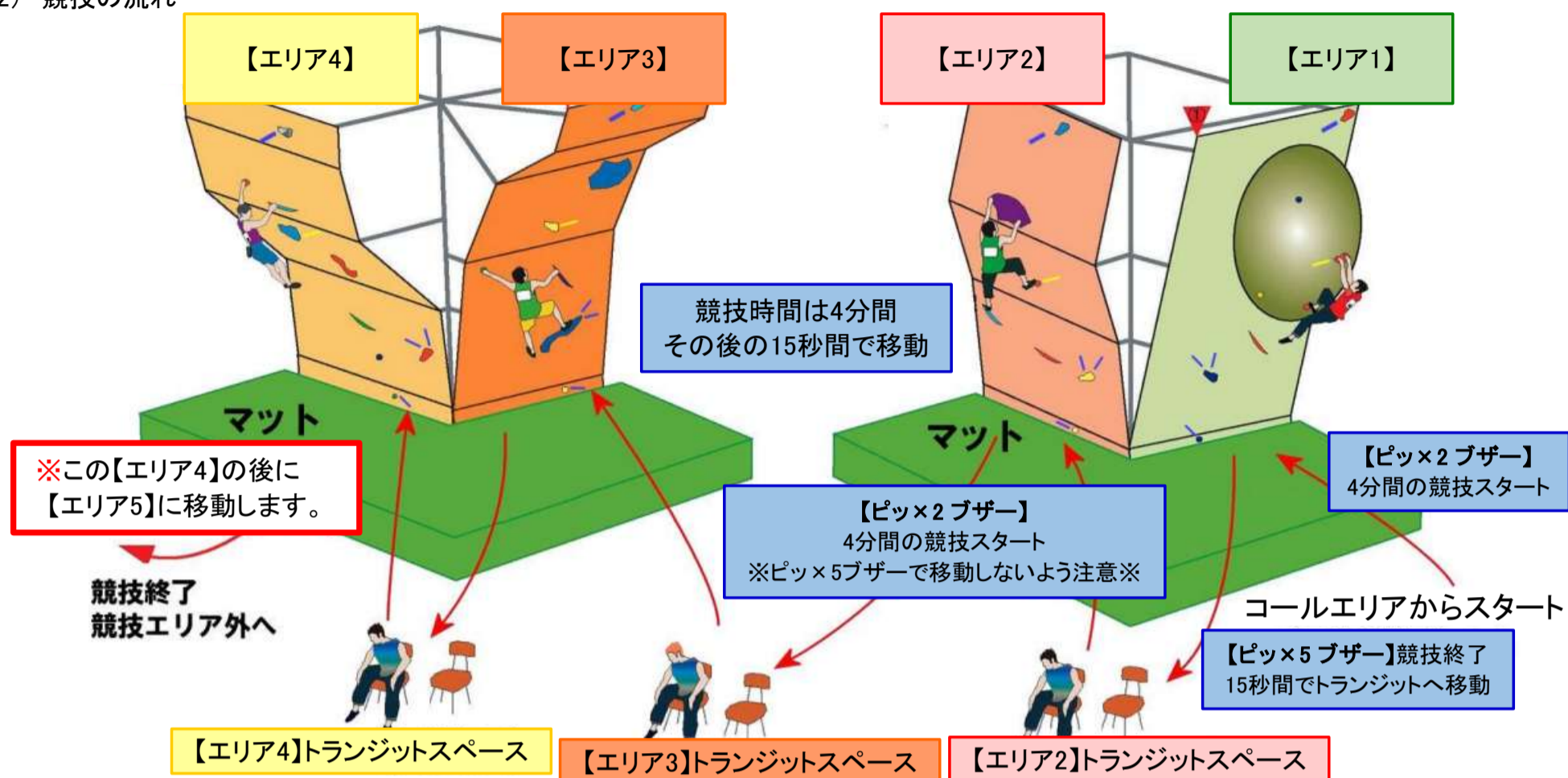
## ■ ファンクラスの部 競技案内

- 1) **ボルダー・セッション方式** : 5エリア / 1エリア2課題 / 合計10課題 / 競技時間40分間 ※ブザービーターOK
- 2) 競技の流れ
  - ①競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示されています(1エリア2課題・合計10課題)。どの課題からもアテンプト可能です。
  - ②アテンプトを希望する課題があるエリアの列の最後尾に並んでください。
  - ③自分の順番になったらスコアカードを担当のジャッジに渡してください。また、アテンプト課題No.もジャッジに申告してください。
  - ④アテンプト終了後はジャッジから成績を確認し、スコアカードを受け取った後に、次に希望するエリアに並びます。
  - ⑤各課題は最大5アテンプトまで可能です(6アテンプトはできませんのでご注意ください)。
  - ⑥円滑に競技を進めるため、選手が長時間壁の中で動かない場合(目安30秒動かない)には、ジャッジ判断で競技を中止をします。
  - ⑦競技時間は40分間です。終了の際にはブザーが鳴ります。  
そのブザー時にアテンプト中の選手は最後まで競技が可能で、ここまでの成績には反映されます(ブザービーターOK)。
  - ⑧競技が終了したらスコアカードを担当スタッフにお渡しください。最終成績は、終了後30分程度で発表予定です。

## ■エキスパートの部 予選 & ジュニアの部 競技案内

1) **ボルダー・ベルトコンペ方式** : エキスパートの部予選とジュニアの部では課題数が異なります(上記参照)。

2) 競技の流れ



①コールエリアで自分の順番まで待機します。**チョークやドリンクなども持ってきてもOK**です(エリア移動時も管理をしてください)。

②【ピッ×5 ブザー】で出発準備をし、15秒後の【ピッ×2 ブザー】で競技開始。【エリア1】に移動し**ジャッジにスコアカードを渡します**。

③競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示されています。完登するまで何回でもトライできます。

※エキスパートの部予選は1エリア1課題 ・ **ジュニアの部**は1エリア2課題を**希望する順番にアテンプト**できます。

④【ピッ×5 ブザー】が鳴ったら競技終了です。トライ中の場合でもすぐに壁から降ります。**時間外は成績には反映されません**。

⑤ジャッジから**自分の成績確認とスコアカードを受取り**、【エリア2】のトランジットスペースに移動します。

⑥【ピッ×5 ブザー】で出発準備をし、15秒後の【短いブザー】で競技開始。【エリア2】に移動し**ジャッジにスコアカードを渡します**。

※【ピッ×5 ブザー】では**移動しない(振り向かない)**ようにご注意ください。 ②～⑥を競技エリア分だけ繰り返し終了です。

⑦競技が終了したら**スコアカードを担当スタッフにお渡しください**。成績は各カテゴリー終了後、10分程度で発表予定です。

## ■エキスパートの部 決勝 競技案内

1) エキスパートの部予選→決勝進出定員 : 男子・女子別に【**成年と少年をあわせた成績より上位5名**】が決勝に進出する。

2) IFSCに準ずる方式 (1課題を1選手ずつ順番にトライする方式) 【3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間】

※詳細なルールは競技前にご案内をいたします。

## ■成績

以下の基準に基づいて1ボルダー(1課題)ごとにポイントを算出し、その合計ポイントが多い選手ほど上位になります。

① ゾーン(Z)のみを保持した場合:10ポイント ・ ② 完登した場合(ゾーン保持の有無は問わない):25ポイント

③ ①もしくは②を獲得するまでに要したアテンプト数(基本的にはフォール数)に0.1を乗じた数値を減点する

④ エキスパート決勝において、合計ポイントが同点の場合には予選成績のカウントバックを用います。

## ■課題の表示方法(テープ表示)について

- 1) **競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示**しています。  
右写真に例を示します(赤と緑のスラッシュテープで表示)。
- 2) **ジュニアの部**では1エリアで2課題を登ることができます。  
そのため、**スラッシュテープも異なる2色**で表示しています。  
また、この2課題は**どちらからも好きな順番で登ることができます**。  
それから、目安としてどちらの課題がやさしいのかも表記します。
- 3) スタートは**4点スタート**(右手・左手・右足・左足を全てセットし安定したスターティング・ポジションからスタートする)です。**スタートは【S数字】で表示**しており**4点のどこかを数字ぶんセット**します。
- 4) ゾーン【Z】は順位をわけるための明確なポイントで各課題に1ヶ所です。
- 5) 木製ハリボテやボリュームホールド(あわせてハリボテ)も利用可能な場合にはテープ表示をしています。また、**指定ホールドが付いている場合にはハリボテ自身にテープ表示がなくとも利用可能**です。  
逆に、上記のどちらでもないハリボテは利用できません。
- 6) トップ【T】は終了点です。エリアを指定する場合があります。



※コールエリアにて【テープ表示例】を作成しているので、選手の皆さんはアップの際にご確認をお願いします。

また、4点スタートやゾーンについてのご質問がございましたら、コールエリアのスタッフにお問い合わせください。

## ■競技の注意点

- 1) **ナンバーカード(ビブNo.)の表示**  
ナンバーカード(ビブNo.)は、Tシャツ等上衣背面中央にしっかりと貼り付けてください。また、競技中に上裸になることを禁止します。
- 2) **競技中の持ち物**  
競技中の選手は、競技エリアの中に以下の物品を持ち込むことを禁止します。  
・スマートフォン・タブレット ・PC ・Bluetooth機能が付加された電子機器等 ・大きな荷物
- 3) **オブザベ中**
  - ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)には触らないでください。**  
テープの付いていないホールドにも触れないでください。
  - ② **クリーニング(ブラッシング)は選手自身でもらっても構いませんが、ホールドにチョークは付け**ないでください。
- 4) **スタート(4点スタートのスターティング・ポジションに入るとき)**
  - ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)を使用しない**でください。 例)遠いから他のホールドを使うなどはダメ。
  - ② **身体がマットから離れ4点スタートの前に落ちた場合にも1フォール**です。スタートに入る際にも1ムーブあるという考えです。
- 5) **アテンプト(アテンプトが追加する事象)**
  - ①アテンプトを開始したとき(上記スタートのタイミング)。
  - ②アテンプトを開始する前に、**スターティング・ホールドおよびブロッカー・ホールド以外のホールドやボテに触れたとき。**  
**よくある事象としては、フォールした際に取り損ねたホールドを確認するように触る場合が多いので注意してください。**
  - ③ ②と同じく、スターティング・ホールドおよびブロッカー・ホールド以外に、チョークまたはティク・マークを追加したとき。



## 6) アテンプト中

- ① **同じ色のテープで示されたホールドやハリボテのみを使用**してください。

また、壁の形状は限定が無い限り利用可能です。

- ② 壁やハリボテのボルト穴は使用禁止です。

- ③ **身体がマットに触れた場合は競技を中止**です。また、ジャッジ判断で中止をする場合もあります。その場合にはジャッジの指示に従ってください。

- ④ **デマケーション(黒テープ)の外側は使用禁止**です。右写真に例を示します。

また、壁の上部(リップ)・白い塗装の柱・張り・管なども使用禁止です。



この黒テープがデマケーションです。選手はデマケーションの右側を登っているため、左側を使用することはできません。

## 7) ゾーン

- ①【Z】で表示されており、**保持する(片手でOK)ことで10ポイントが加算**されます。**タッチなどでは無効**です。

- ②【Z】を使用せずに登ることもできます。その際に【Z】ラインより上まで登っても**10ポイントは加算されません**。

つまり【Z】を使用せず、完登しなければ、ポイントは加算されることはなく、フォールに際する0.1ポイントの減点が発生します。

## 8) 完登・トップ

- ①【T】で表示されており、両手で保持・コントロールした際にジャッジがそれを認め『OK』とコールします。これで完登になります。

**※選手のみなさんは『OK』コールを聞くまで降りたり、他のホールドを使わないようにしてください。**

- ②完登することで25ポイントが加算されます。

## 9) 抗議・意見

各エリアの成績確認で問題があるようであれば、その際に担当ジャッジに抗議・意見を伝えてください。

## 10) 選手帯同者に関する注意

選手帯同者のスマートフォンや撮影機器の持ち込みは可能ですが、以下の点にご留意をお願いします。

- ①写真・動画撮影は可能です。ただし、選手やジャッジの邪魔をしない範囲でお願いします。

- ②競技の情報(ルート・ムーブ等含む)を選手に伝えないこと。

- ③SNSでの投稿は、大会終了までは不可とします。これは選手本人も同じです。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

遵守いただけない場合、イエロー・レッドカードの対象となり、選手に不利益が生じる可能性もございますので、ご留意ください。

## ■肖像権の取扱いについて

今大会において競技中に写真および動画を撮影する場合がございます。

これら撮影された写真や動画は次のことに使用され、明記のない案件での使用は一切いたしません。

・SMSCAホームページへの掲載 ・SMSCA作成の冊子やチラシへの掲載 ・SMSCA作成のスライドショーなどへの使用

・SMSCAが認めた報道機関等が撮影した写真や動画が、新聞・雑誌・大会報告書・記録集及び関連HP等で公開されることがあります。

参加申込書の提出(エントリー)により、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。

尚、同意できない場合は、当日受付にてお申し出ください。

作成: 2024年4月4日

改定: 2026年4月4日